



佐世保市立中里中学校
 学校だより No. 31
 発行日 R6. 2. 2
 発行者 眞弓 健一

創

【校訓】 自主・実践・創造
 【学校教育目標】
 学び合い、磨き合い、鍛え合う生徒の育成
 中里中ホームページ



～自律し、笑い合い、助け合う学校へ～

鬼は外 福は内 ～福を招く生き方をめざして～

明日2月3日は「節分」です。節分の習わしは、「鬼は外、福は内」と唱えながら行う豆まきです。この「豆まき」は、心の中に潜む「鬼」を外に出し、「福」を招く生き方をめざして行うという意味があると考えます。

日常生活では、優しく純粋な気持ちで「良い行い」をすることもあれば、分かっている「良くない行い」をすることもあります。私たちの言動の裏側には、必ず「心のはたらき」がありますが、その心とは、プラスの方向にもマイナスの方向にもはたらくものです。善と悪との間で常に揺れ動いているものです。

「鬼は外」と唱えながら節分の豆まきをする際には、まず自分自身を省みて、そこに潜んだ「心の鬼」ともいうべき、「良くない心(自分勝手な心、怒り、恨み、ねたむ心・・・)」を打ち払うことを意識してください。

また、「良くない心」の対極にあるものが、「感謝の心」や「思いやりの心」といえます。例えば、明るい表情で挨拶をする。友達の話に心から耳を傾ける。温かい励ましの言葉をかける。心から感謝の気持ちを伝える。前向きに努力を続ける。このような「良い心」を表し、自分自身に「福を招く生き方」をめざしてほしいと思います。

□「気持ちをこめて、心によりそう」 ～2年生 道徳の授業から～



今週は2年生全クラスで杉原先生が道徳の授業をしました。杉原先生は6組担任であり、特別支援教育のスペシャリストの先生でもあります。授業では、パラリンピック車いすバスケット日本代表の鳥海連志選手の幼少の頃の動画を使って、生徒達に「障害は個性であること」「前向きに生きること」「自分らしく共に豊かに生きること」「障害をもっている方への接し方」を生徒に伝えられました。最後に「やさしさの連鎖」という動画を見せ、「優しさに気づく大人になってほしい」ということを訴えられました。どの学級も真剣に考えていました。

■来週も感染症に注意！

今週は水曜日と木曜日をインフルエンザ流行のため、1年生を学年閉鎖にしました。1年生の罹患者は減少傾向にありますが、小学校の状況や市内の状況から、他学年も油断はできません。具合が悪い場合は無理をせず、休養・病院受診をお願いします。

1年 篠原穂さん 自己ベスト更新！

～県下一周駅伝大会出場～

1月26日～28日に行われた第70回郡市対抗県下一周駅伝大会に本校1年生の篠原穂さんが佐世保市代表として出場しました。15区(中学女子区間)3kmを区間6位10分37秒の自己ベストで走り、佐世保チームの上位入賞に貢献しました。また本校OBで鎮西学院3年の古賀智也くんも出場し、好記録を出しています。

中里中の子どもたちが大活躍でした。